

真崎地区 村政懇談会

日 時：平成22年6月25日（金） 午後7時～9時

場 所：真崎コミュニティセンター 会議室

参加者：村執行部（村長，副村長，教育長，理事（兼）企画政策部長，総務部長，福祉部長，経済環境部長，建設水道部長，消防長，教育次長，議会事務局長）

事務局（自治推進課長，課長補佐，自治推進課職員2名） 計15名

自治会長（真崎区，舟石川3区，原子力機構荒谷台区）

参加者：真崎区…35名，舟石川3区…7名，

原子力機構荒谷台区…2名，その他の地区…21名

計60名

司会進行： 原子力機構荒谷台区副自治会長

1. 開会
2. 地区自治会長あいさつ（真崎区自治会長）
3. 出席者紹介（自治会長及び村執行部）
4. 村長あいさつ及び「平成22年度村政に関する説明」
5. 「自治基本条例の進捗状況」について（自治推進課長）
6. 地区自治会からの事前質問に対する回答
 - ① 平成21年度の事前質問に対する進捗状況の説明
 - ② 平成22年度の事前質問に対する回答
7. 自由質問

○ 舟石川3区住民

新村松踏切の関係で意見を述べさせていただきたいと思います。過日，近隣住民に対してアンケート調査を実施されまして，その結果と村の考え方が文書で出されまして，一定の理解をしております。4輪の車を終日通行禁止にして，歩行者と2輪を通すとのことですが，その中で，地域の自治会長あるいは班長の同意を得なければならない，併せて近隣の人たちへの説明会を開催したいという話がありました。村の考え方が出されてきて私どもも理解をしなければならないという気持ちがございます。あの踏切は，非常に使いにくいし，通りにくく，そういったことから村の考えにやむをなしと感じております。その後の進捗状況，これからの予定について説明をお願いします。周知を含めてよい機会だと思いますのでよろしくお願いします。

○ 建設水道部長

今の御意見ですが，以前から村ではJRと協議をしておりますが，危険で何かあったら大変であり，村として地域住民の方の危険を避けなくてはいけないと思っております。踏切を止めるための交通量調査を行いまして，地域の方も土日利用されていることもわかりました。一方で平日の朝は駅西から駅東に抜ける車が多い。また，夕方

真崎地区 村政懇談会

は逆に駅東から駅西へ向かう車が多い。平日は通過に使うという車が多いという結果が出ております。それらを踏まえて地域の方の安全を守るために踏切では4輪車を規制していきたい。これまで村長自ら警察またはJRに直談判し、手続き等々協議させていただいております。自治会長、班長の同意、これについては村から自治会に対し、「村の考えについて同意してください」という形をとりまして、それらを受けて警察、JRに要望を出すという手続きをこれから行うところであります。それに併せて、JRでも今年に入って多賀駅近くで接触事故がありまして、軽自動車も傷んだくらいで大きな事故には繋がらなかったのですが、踏切事故が結構多くJRとしても踏切の安全を守るということで警察のほうに村と一緒に要望書を出すということで理解をいただいております。何よりも人の安全を守るということで、今年の年度末に向けて手続きをしていきたいと考えております。

実態調査をしているときにも、踏切でのトラブルを職員も目の当たりにしております。一日、二日の実態調査でこのようなことですので私たちの気づかないところで、日常茶飯事であると思われまます。これについては村として規制する方法で考えておりますので地域の皆様の理解をお願いします。

○ 真崎区住民

中央地区区画整理ですが、始まってから村長が3代くらい代わっているのです。クリーンセンターができる時に当時の村長が何を言ったのかということ、真崎地区は市街地の真ん中にある。そういった中でも排水が一番遅い。だから調整区域が整備された東海村、当時からやっておりましたから、そういう中で「排水の対応を早くしたい。だからクリーンセンターを作らせてくれ」という話があったのです。最終的に下水道が整備されるのが東海村で一番遅いのがこの地域なのです。もう20年困っている人もたくさんいます。限られた村の財政でやるのはわかりますが、惰性でやらないでほしい、早めの検討をお願いします。クリーンセンターの跡地利用もそうですが、住民自治というのは、住んでいる住民が意識を変えられるかどうか。いろいろなところで参加した人たちはやるのですが、結局最後は住んでいる住民の意識が変わらなければ何も変わらないのです。そのためにも口に出すことができない人たちが出せるような取り組みもお願いしたい。

また、荒谷台、長堀、あの土地の購入を検討していくということですが、土地があるから何かを作ってしまうという考え方ではなくそのまま緑を残す、緑を植えるとか考えて欲しいので検討していただきたいと思います。

○ 村長

中央土地区画整理事業ですが、私が村長になったときからの重い課題で、当時組合施工でしたが、経済状況等の関係で1年ほど検討して村施工に切り替えたわけがございます。精一杯やっているつもりですが10年以上かかっておりますので地権者の要望に答えられていないというのは、気が重い話であります。基本的には現在お住まい

真崎地区 村政懇談会

の所に下水道を敷けるようにと。既存の開発地区はそのまま利用するという事で計画を切り替えたわけですが、そうはいつでもなかなか進まないということは十分承知しております。全体で82.5ヘクタールととてつもなくでっかい面積です。土地の落差が11メートル以上もあります。工事の面で、今ももう一度見直しをするように指示しております。それは周辺の緑地がありますが、それも埋め立てて平らにして地権者に換地をするという計画になっておりますが、「それは考えを直そうよ」。「村の保留地を地権者に提供していこうよ」。斜面の緑地部分の工事を減らす。自然を残そうと見直しを図っております。

また、住民自治ということですがまったくその通りです。何でも言って欲しいのですが、役所のいうことも聞いていただきたい。役人になると慎重な言い回しが多いのです。皆さんが役所職員を育てていただきたいと思います。

それから荒谷台、長堀ですが、今までは「空き地があれば何か作りましょう」という考えが日本にはございましたが、今は自然を作ること、その方が価値が大きいのだといわれる時代でございます。白方小学校の跡地も何かを建てろということではなく広場として、公園としてみんなが使えるように、そして白方には東部排水が流れており、水が溢れてくるので遊水地も広場に取り入れていこう。深く掘るわけではありません。最大1メートルから1.5メートル位。大雨のとき少しの間溜める。芝生のままでやっていこうという考えです。フローレスタ須和間の土地の問題もあります。分譲というより元の林に戻せたらいいなと思っております。東海村は、樹林緑地帯が原子力のある海岸線を含めてで16%しかない。そこを外せば10%しかないのです。

○ 真崎区住民

お願いがございます。私は、この地域や、まさき会で活動しております。この地区には、まさき会、フレッシュ会、風車の会など数多くの活動団体がございます。これらは真崎コミセンを中心に活動を行っております。私の先輩たちもいますが、活動には物を運ぶ、例えば花壇の整備をするにしても車の利用が必要です。ボランティア活動ですから「個人の車を使用しろ」といわれてしまうかもしれませんが、もし、コミセンに公用車を配置してもらえば活動もしやすくなると思います。また、地区自治会としても8月21日に行灯まつりを行います。行うにしても資材の運搬は個人の車を使っての搬送となります。公用車があれば楽にできるのかと思います。無償で続けるのにも難しいところもございます。けしてクラウンとは言いません。軽トラで十分です。指定管理者制度が始まる前に検討いただければと思います。

○ 総務部長

村としてもボランティアの皆さんにお願いしている以上公用車も必要だと思います。ただ、指定管理者制度がまもなく導入されますので、それに併せて検討してまいりたいと思いますが指定管理者制度を導入してから公用車の購入は不可能かと思っておりますので、その前までに検討させていただきます。

真崎地区 村政懇談会

○ 舟石川3区住民

先日舟石川3区の役員会を行いまして、先程の踏切を停止すると抜け道として多くの車が利用するのではないかと心配しており、抜け道として通さないようにしたいという話がありました。通行止めにしたときにどんな影響が考えられるのか、さらに北側にトンネルや踏切があります。東海中学校に通う子どもたちが自転車で利用しますので危険な目に遭うのではないのでしょうか。抜け道で交通量が増えるような気がしません。対策をお願いします。

○ 建設水道部長

新村松踏切を閉鎖することによって、考えられるのは日立東海線、駅前通り、駅東のジャスコ付近の渋滞が予想されます。それによって迂回路を利用するようになることが予想されます。状況を見つつ、新たな手を打つことができるか警察とも協議をしながら対応してまいります。

○ 真崎区住民

東海南中学校区には文化的な施設が整備されています。図書館もあり、文化センターもあり、プールもある。一方で、東海中学校区には、そのような生涯教育を行う施設がありません。村長の説明で「コンクリートから人へという時代」と物を作らないようですが私の希望では必要なものは作るべきだと思います。白方小学校の跡地は、緑地になると聞いておりますが、緑地だけというのは理解できません。生涯教育の施設と同時に出土品が村内には出ております。高額な金をかけて発掘しましたが出土品が今どこにあるか分かりません。そのような出土品を児童が見学できるような施設を造ることも大切だと思います。

○ 教育長

毎年この質問を受けておりまして、個人的にはその意見に賛成ですが教育長としての立場では、そうまいしょうとはなかなか言えません。村全体をみた場合、利用者の立場を考えて、生涯学習センター検討委員を委託しております。そのような場でどんどん発言してもらいたい。ただ、白方小学校跡地を生涯学習センターにということで勿論候補の一つだったのです。100%消えたわけではないと思っておりますが、白方小学校の移転改築の理由として、アクセス道路が狭く災害が起きたとき危険である。安全面を考えると運動場が広いというだけであそこが良いとの議論にならなかったと思います。

○ 真崎区住民

造ると言ってもらえれば再質問をしませんでした。東海中と東海南中の学区を考えて、やはり生涯学習センターのようなものを、白方小学校跡地の一部に造っていただければ白方小学校の子どもたちにも、石神小学校の子どもたちにも、村松小学校の子どもたちにも使いやすかったのではないかと考えております。あまり、原研通りの様な広い道路に面しているわけでもありませんから、自転車でも通いやすいと思います

真崎地区 村政懇談会

し、常日頃村全体のことを考えておりますので、私の意見も取り入れて欲しい。別に回答はいりません。

○ 舟石川3区住民

民生委員をしております。村長の資料にもありますように、人と環境優先、生活弱者の視点と書かれております。いろいろな活動しております。一つには災害発生時の緊急連絡。給食の配布、一人暮らしのお年寄りへの声かけ。この場合、いずれも個人情報保護法により同意書をその都度もらわなければなりません。今回も高齢者の状況調査で「同意書をもらってください」。またですか。目的は弱者への支援です。社会福祉協議会とも連絡をとって統一していただくよう検討していただきたい

○ 村長

誠に申し訳ないということです。民生委員の方が弱者の皆さんの面倒を見ようと思っているのに、そのたびに個人情報保護法に基づいての承諾をもらっている。私もあまりにも役所は杓子定規だと思っております。責任逃れみたいなのところもあります。責任は村が負うということで私自身は承諾書がなくても良いと思っております。個人情報保護法ができてから何もかもにビクビクしている。テレビでも雑誌でも顔に網掛けをする場合もあります。今や卒業アルバムもそのようだと聞いています。こんなのは馬鹿げていると思います。法律を守るということですが国もそれは行き過ぎだと成りつつあります。われわれとしてもいちいち承諾をもらわないと助けられないということもなくすようにしていきたい。

○ 福祉部長

個人情報保護法については、村長も言いましたとおりたいへん難しいものです。民生委員の方々には御迷惑をお掛けしております。福祉部内でも少し考えまして、福祉に関する何種類かのものに一筆で済むなど検討してまいります。

○ 真崎区住民

阿漕ヶ浦について、大神宮の所有ですので直接行政とは関係ないとは思いますが、最近水位が増えてきました。私は地区自治会の保健部会に所属しております。阿漕ヶ浦の遊歩道ということでお願いしました。私自身昭和56年まで浄水場の管理をしておりました。阿漕ヶ浦の異臭の問題、昭和45年にみなさん御存知のとおりカビ臭のにおいで持って原研の水も活性炭しないと飲めないような事態になり、そのときからパトロール強化ということで点検とパトロールを1日3回行ってきました。最近釣りをしている人も増えているし、阿漕倶楽部の下も雑草で汚くなっている。水位は私の目測で1メートルくらい上がってしまった。遊歩道を作ってもらうにしても、水かさが増えている。行政にお願いするのも無理だと思うがその辺をお願いしたい。

○ 建設水道部長

実は6月の定例議会でも二人の議員から質問をいただいております。ただ、阿漕ヶ浦は民地、大神宮の所有であります。水位が上がったことは役場でも確認をしております。

真崎地区 村政懇談会

ます。しかし、水位があがったから大神宮で何かできますか。という段階ではまだありません。まずは水位を観察していかなければなりません。大神宮さんで観察する、または村、地域で観察する方法もあります。といっても地域の方が生活で困るようなことがないようにしなければなりません。質問をいただいた議員さんも大神宮に直接行ってお話をしております。その後、われわれも議会からも地域からも話がありますという旨の話をしました。原子力機構と大神宮で調整をしているようです。水位について調査をさせてくれという理解を得ております。今は梅雨時ですので水位が上がっていると思います。乾季にどのくらい下がるか、一年サイクルで調べないとどのくらい上がったのかわかりませんという話はさせていただきました。水位が上がったり、下がったりするための杭を打たせてもらうよう理解を得ましたので観察はしていきますがそれ以上はなかなかできません。

○ 真崎区住民

広報に阿漕ヶ浦の写真がないかと思い、調べましたら「東海村の50年」と昭和63年の広報にきれいな阿漕ヶ浦が航空写真で掲載されております。こちらを見ると現在、水位がかなり増えているので心配です。最近釣りをしている人が多く土留めをしても崩れてきておりますので心配でございますのでよろしくお願いいたします。

8. 閉会